



成分ダブルス・トレパスのご提案

2010年4月15日

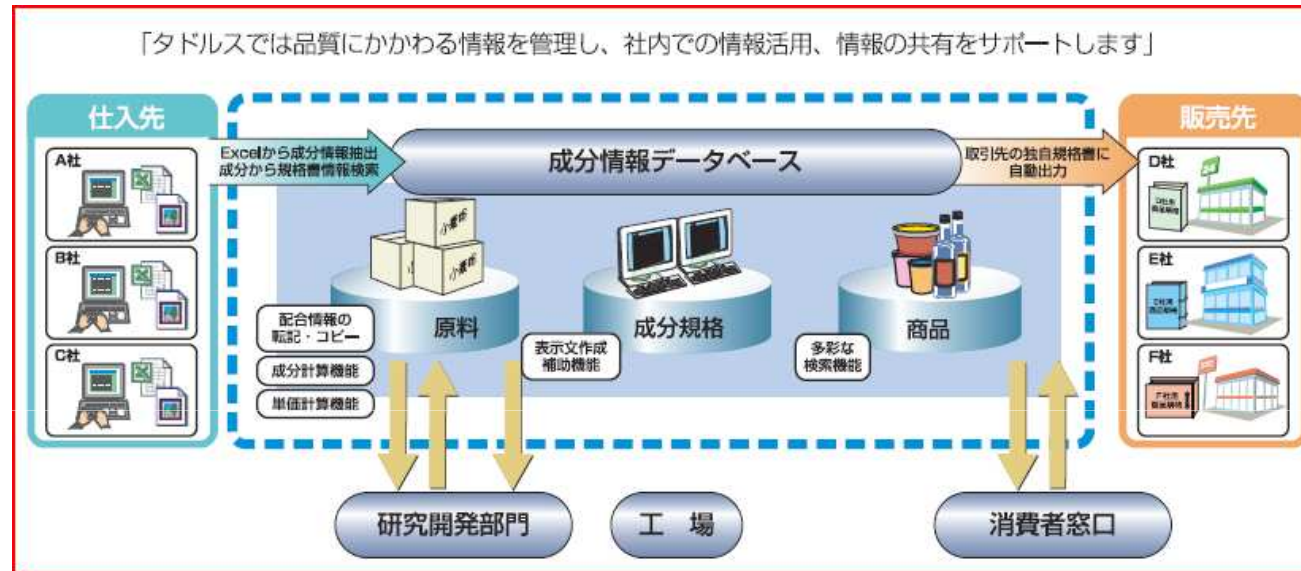
東京システムハウス株式会社
TOREPASプロジェクト

目次

- 成分タドルスとは
- 食品メーカーが抱える問題点
- 活用事例
 - 1. 品質保証部での利用方法
 - 2. 商品開発部での利用方法
 - 3. 営業部での利用方法
 - 4. 製造部門での利用方法(タドルスと他システムの連携)
- メリット
- TSHの食品企業様向けソリューション
- TSHの新サービスのご案内
 - システム導入に当たっての準備
 - ご提供可能なサービス

成分タドルスとは

- 成分タドルスとは
 - 食品企業様向けの品質情報管理ソフト



- ① 原料規格書データベース
 - 原料メーカーに記入を依頼した原料規格書のデータベース化
 - さまざまな書式の原料規格書の読み込みに対応
- ② 原料配合データベース
 - 試作品開発、商品開発における原料配合の管理から原料一括表示の作成・栄養成分の計算
 - 原料表示ラベル発行
- ③ 商品規格書データベース
 - 得意先向けの商品規格書の提出
 - さまざまな書式の商品規格書EXCELへのアウトプット
 - eBASEjr.形式データ変換によるeBASE連携

成分タドルスとは

- 導入企業

- 約60社以上の食品企業様での導入実績

- 日世株式会社
- 株式会社銀座コージーコーナー
- 森永乳業株式会社
- 株式会社インペリアル・キッチン
- 三洋食品株式会社
- など

- さまざまな業種・売上規模の企業で利用

- 食品メーカーの業種を問わない柔軟なデータベース構造
- さまざまな部署による活用事例

- システム導入の目的もさまざま

- 原料規格書の管理～原料配合・表示作成までをシステム化
- 商品開発部門向けの試作品管理データベース
- 各拠点工場ごとのデータ管理手法の統一化 →日世様事例
- 得意先向け商品仕様書のアウトプット
- 営業マン向けの商品情報共有データベース →最近の提案事例

食品メーカーが抱える業務課題

- 品質保証部の課題

- 原料メーカーから回収している原料情報(原料規格書)が整理されていない
 - 紙管理のため、目的のものがすぐに取り出せない
 - 最新の情報が古い情報かわからない
 - 担当レベルで情報を持っており(メール、紙など)、担当者がいないとわからない
- 得意先から要求される商品情報提出に時間がかかる
 - さまざまな仕様書の書式の存在
 - GCIジャパンによる品質系情報の標準化の取り組みなどもある
 - 得意先のIT化により、提出作業が複雑化
 - マクロ付EXCEL
 - 「eBASEjr.」へのデータ入力
 - 得意先の独自システム(WEB、など)への直接入力
 - 最新の商品情報がどの情報なのかわからない

食品メーカーが抱える業務課題

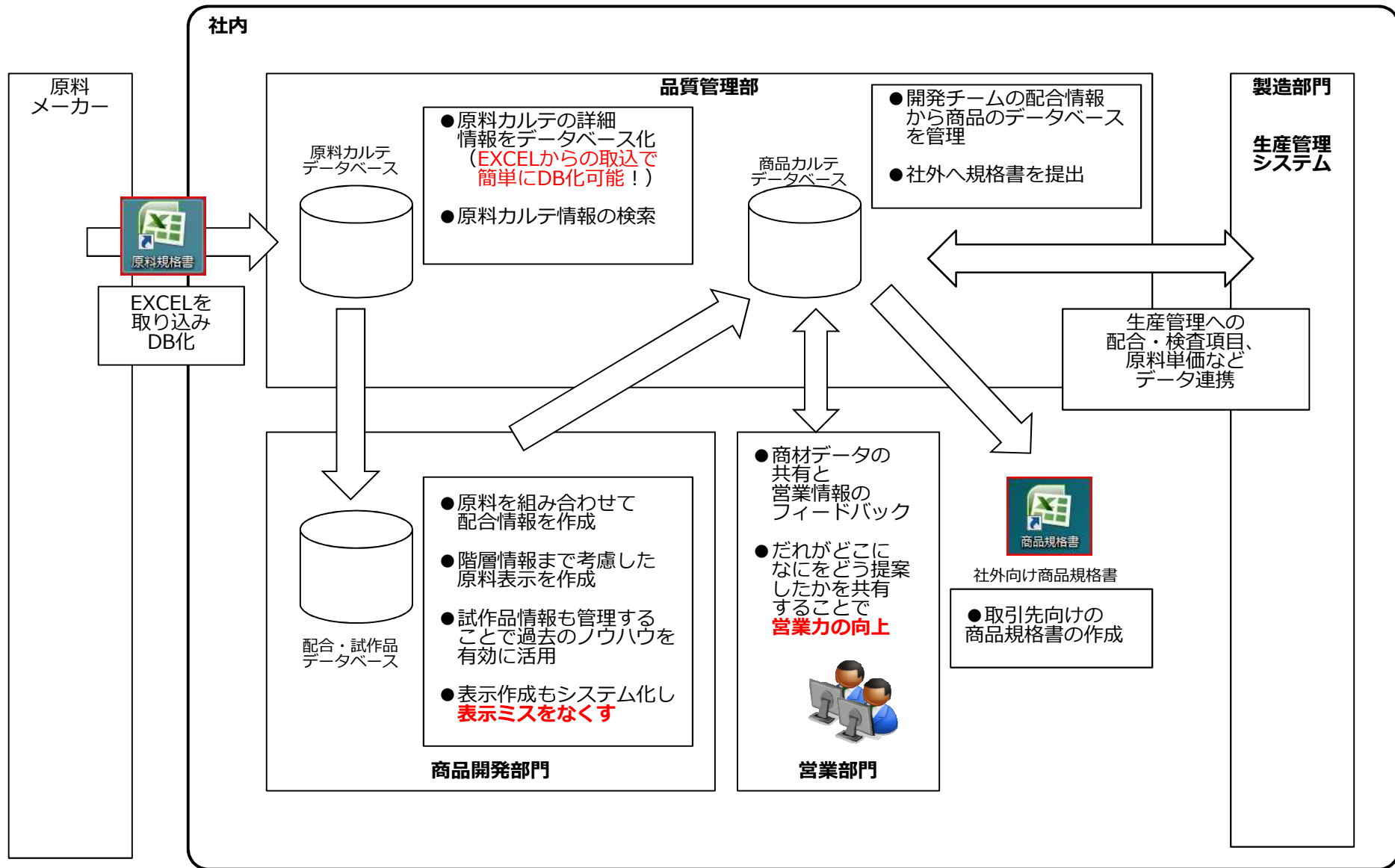
- 研究開発部の課題

- － 試作品情報の管理方法が確立されていない
 - 社内システムで製品の原料配合などは管理されているが、試作品情報は個人ごとの情報管理
- － 開発部の中での情報共有ができていない
 - 原料情報を各担当別に管理している
 - － 各担当者ごとにEXCELなどでデータを持っている
- － 原料表示をEXCELで作成しているため、煩雑
 - EXCELを使って原料表示を作成しているため、EXCELの式のずれなどでミスが起きやすい

- 営業部の課題

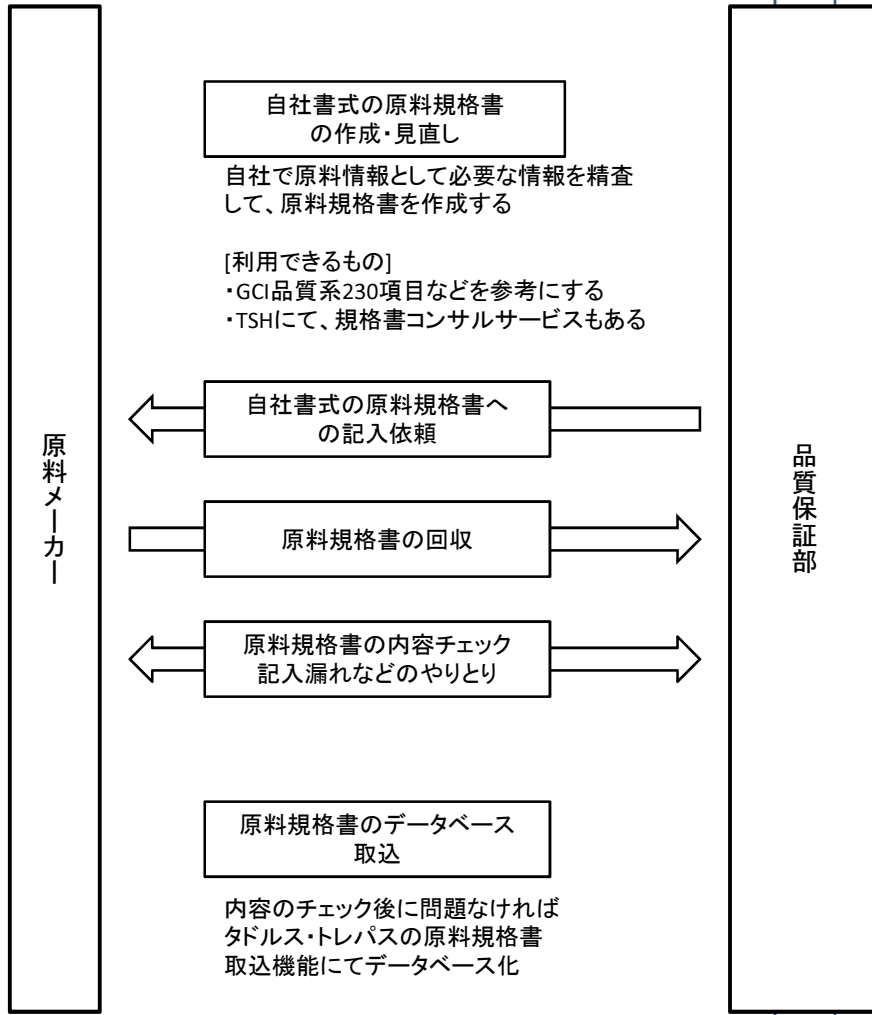
- － 各営業が商品に関する情報(クレーム・品質情報)を正しく把握できていない
- － 営業マンの提案力や提案資料などのレベルが統一できていない

成分タドルスの社内活用事例

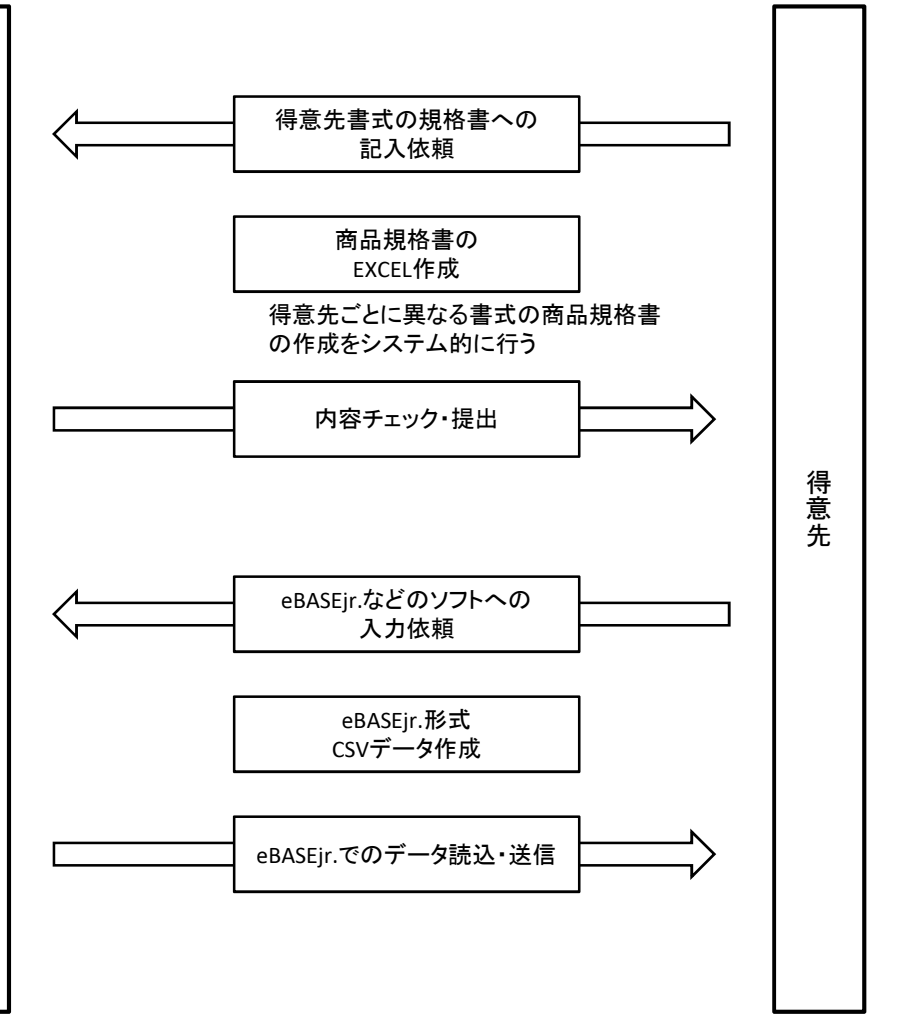


1. 品質保証部門での利用方法

● 原料規格書の管理ツール

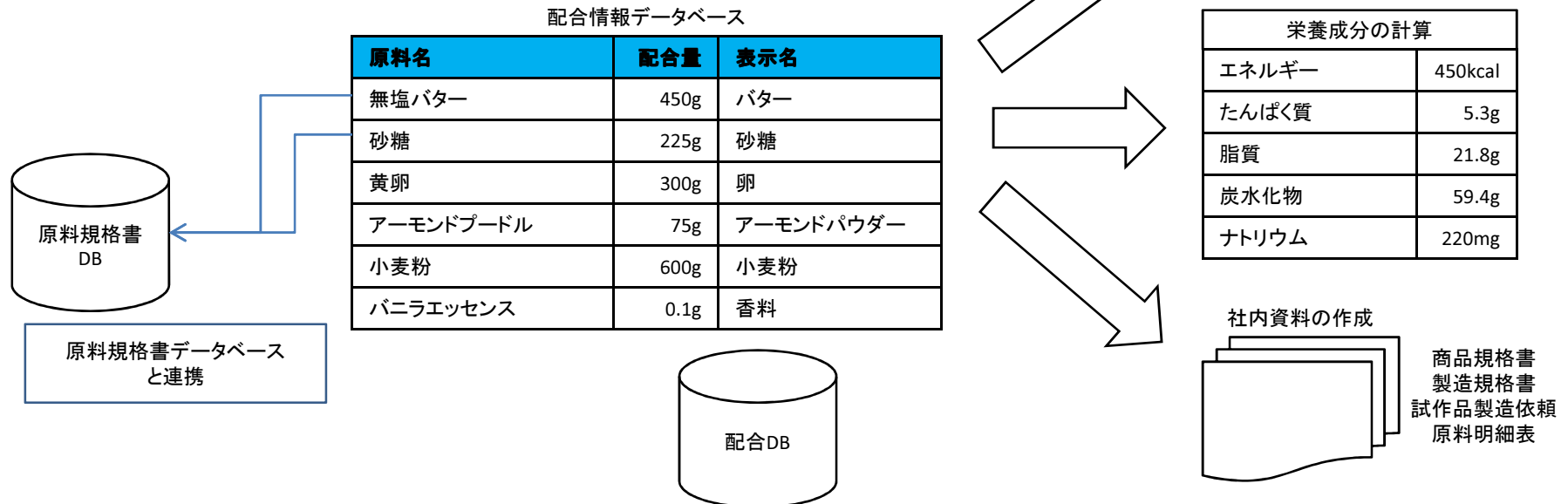


● 得意先の商品規格書提出用ツール



2. 商品開発部門での利用方法

- 試作品開発の管理システム
 - 試作品の原料配合データ(レシピ)のデータベース化
 - 過去の配合データを活用した商品開発
 - 商品開発業務の手順統一化
 - 原料規格書データベースと配合データベースの連携による機能
 - 原料一括表示のシステム化による表示ミスの改善
 - 原料成分の積み上げによる配合全体の栄養成分計算
 - 社内資料の作成業務の効率化



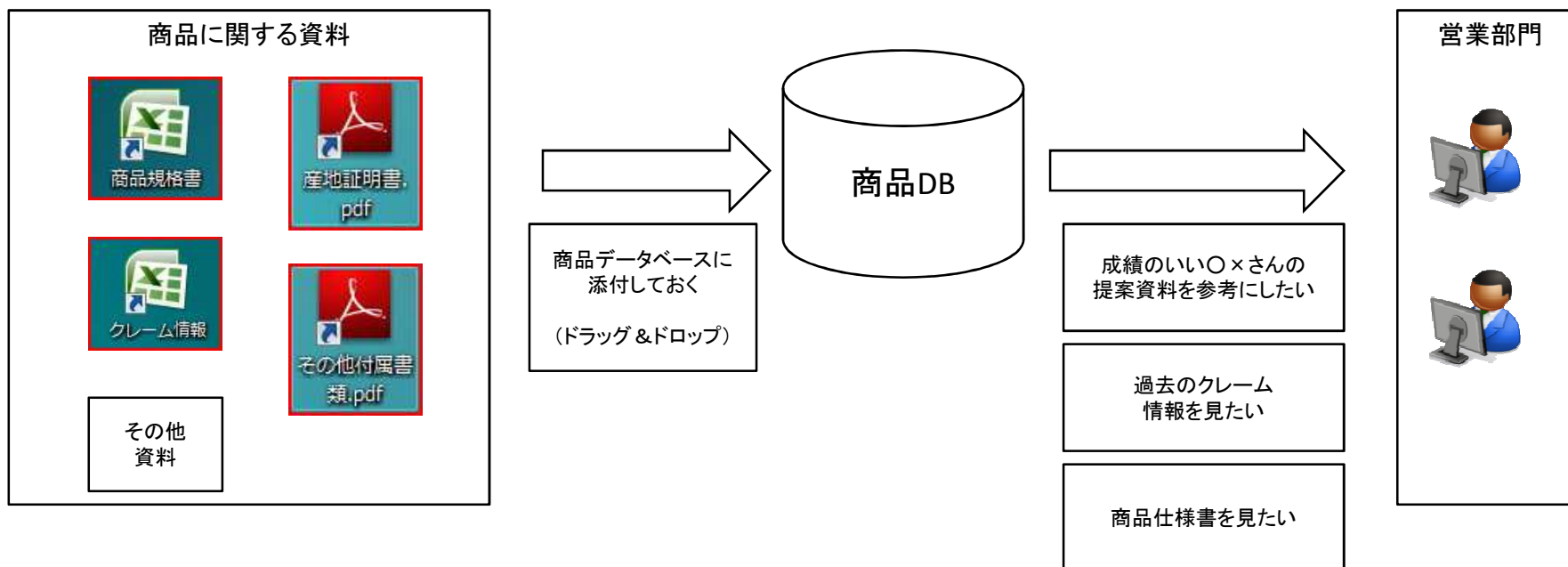
3. 営業部門での利用方法

- 自社商品の情報共有ツール

- 商品に関する情報をデータベース化し、各部門間・営業担当で共有する

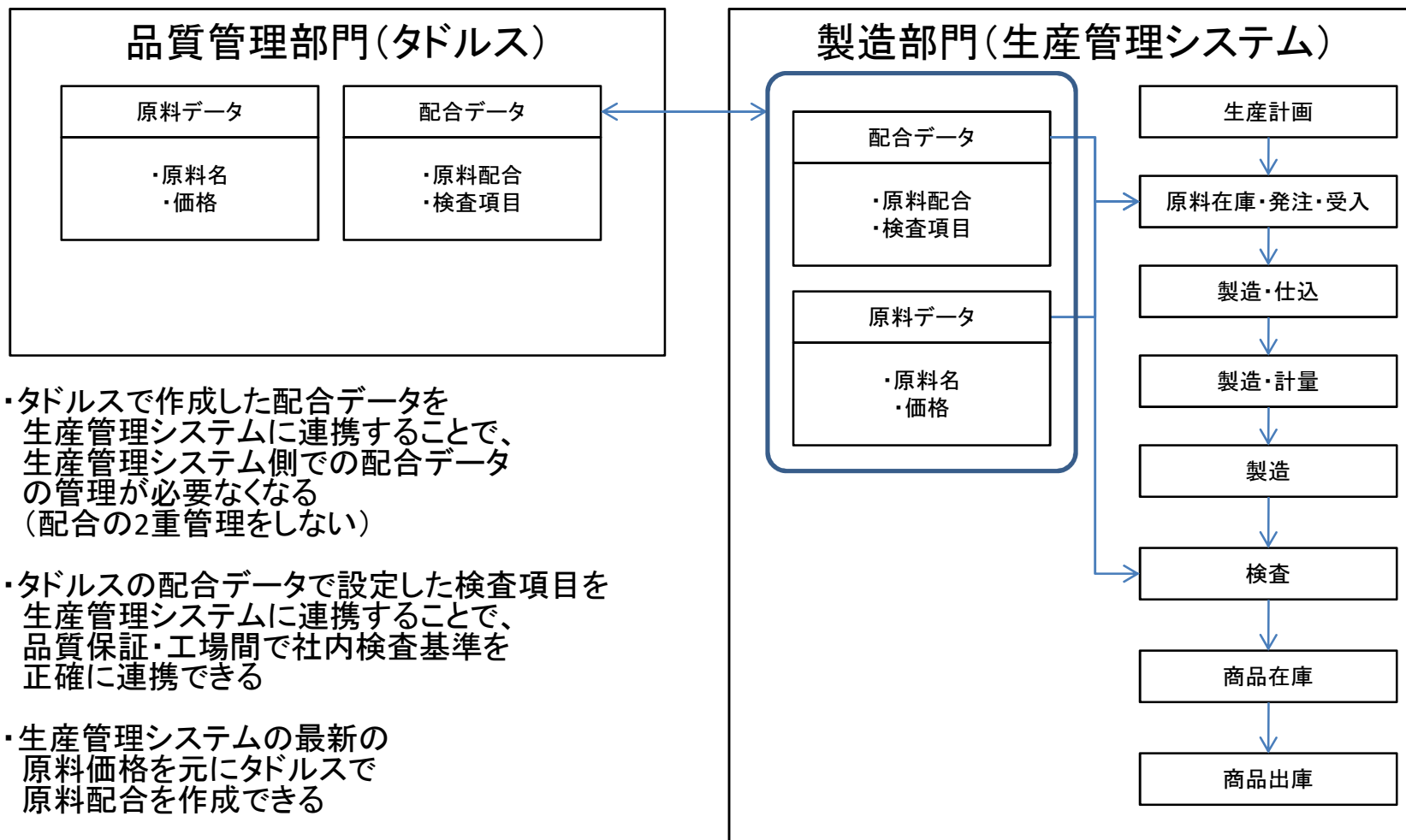
- 商品に関する情報(仕様書、産地証明書、その他書類)の一元化
- 各営業マンがどのような提案資料をどこに提案しているか
- 過去にどのようなクレームが来て、どう対処したか

などの商品に関わる資料をデータベース化して、営業力の底上げにつなげる



4. 製造部門での利用方法

- 生産管理システムとタドルスの連携

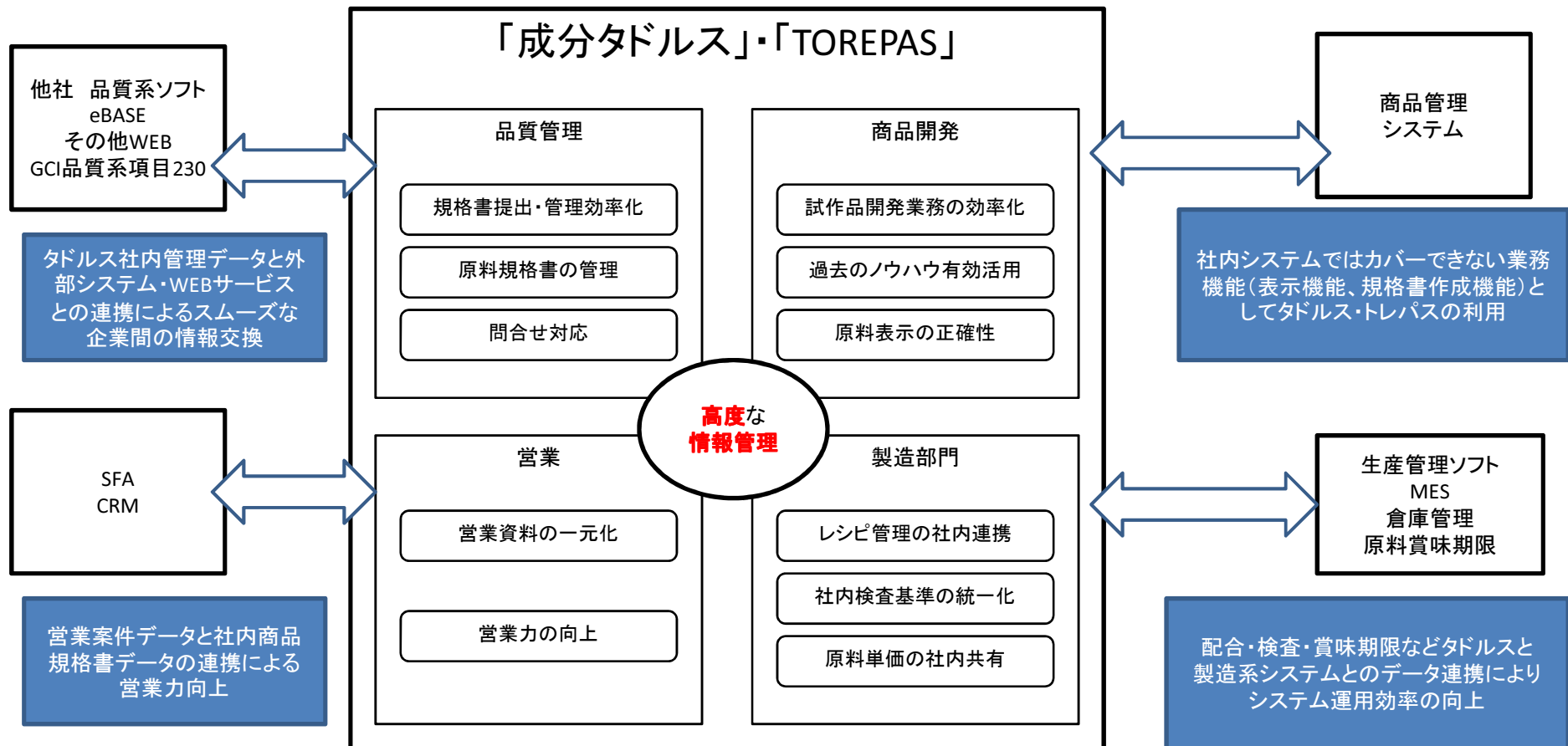


タドルスの導入メリット

- 品質保証部門
 - 商品規格書の提出作業の時間短縮
 - 特定の人によらず、問合せ対応が可能となり、時間・人的コストの短縮
- 商品開発部門
 - 過去の試作品情報を元にした新製品開発への有効活用
 - 商品開発業務(資料作成、開発データ作成)が効率化され、試作品開発数の向上につながる
 - 原料表示や栄養成分、アレルギー表示、遺伝子表示などの記載ミスなどがなくなる
- 営業部門
 - 商品に関連する書類(提案資料、見積、レシピ、クレームなど)を共有化することによる営業マンの商品知識の向上、営業力の向上
- 会社全体
 - 品質情報管理をシステム化することによる信頼性の向上 (コンプライアンス)
 - 事件、事故発生時の円滑な対応 (リスクヘッジ)
 - 特定の人しかできない作業がなくなる (人的コストの削減)

TSHの食品企業様向けソリューション

- TSHでは品質情報管理ソフト「成分タドルス」を通して、様々なシステム化提案のノウハウをご提供することができます。
 お客様が抱えるあらゆる業務課題に対する総合的なソリューションをご提案させていただきます。



システム導入に当たっての準備

- インストールだけではシステムは稼働しない
システムを稼働させるための準備が必要

1. 今ある情報・データをどうするか検討する

- 商品規格書 → EXCEL
- 原料規格書 → 紙、EXCELなど
- 配合データ → EXCEL、ACCESSなど
- 社内基幹システム → 配合や原料、商品コードの情報

タドルスに一括で登録するか、タドルスには新規で入力するか

2. 原料規格書をどうするか

- 新しい原料規格書書式を作るか、いままでの原料規格書フォーマットを流用するか

3. システムをだれが、どのように運用するか

- システムの各機能の運用担当を決める
 - 原料規格書のデータ登録、修正
 - 配合情報のデータ登録、修正
 - 商品規格書のデータ登録、修正
 - システムの問合せ担当

TSHのシステム稼働サポートサービス

システムを運用するために必要な作業をサポートさせていただきます

No	サービスメニュー	詳細内容	金額
1	規格書に関するサービス		
	原料規格書サンプルテンプレート提供	TSHにて保有している原料規格書のサンプル書式を提供します。	20万円
	原料規格書テンプレートコンサルティング	原料規格書の検討に関するコンサルテーションを行います。	50万円～
	テンプレート設定作業	規格書設定作業を請け負います。ただし設定を行う規格書の提供は含まれません。	30万円
2	システム教育サービス		
	半日コース(10名まで)	基本的な操作説明を行います(旅費交通費、日当別途)。	10万円
	2日間コース(4名まで)	実習形式での操作説明を行います(旅費交通費、日当別途)。4名追加毎に20万加算となります。	30万円
3	データ入力サービス	紙・データなどで保有している規格書情報からデータを入力させていただきます。	別途見積

上記サービス以外にもシステムに関するお問合せ、ご質問などありましたら
ご相談ください。

ご静聴ありがとうございました

お問合せ

東京システムハウス株式会社
TOREPASプロジェクト

TEL 03-5436-3341

FAX 03-3493-3550

MAIL torepas@tsh-world.co.jp

無断での複製・転用・転載を禁止いたします